

体協

第98号 平成25年10月15日

いよいよ

発行：特定非営利活動法人 飯山市体育協会 / 〒389-2251 飯山市大字旭 4722 飯山市民体育館内 印刷：(有) 足立印刷所

25年度完成した新コースで  
2013県民スポーツフェスティバル  
北信地区MG飯山大会を行いました!!



## 第5回飯山市民 交流テニス大会

硬式テニスクラブ

高橋 遥奈

7月28日に飯山市民交流テニス大会がありました。今回のテニス大会は、たくさんの方が参加をしました。当日、くじ引きで男女の混合ペアをつくりまし

た。その日はとても暑く、水筒の中身は全てなくなるほどでした。途中少しだけ雨が降った時は、シャワーのようにとても気持ち良かったです。今回、私は初めて参加をしました。すごい楽しみにしていた面もあつたけど、ダブルスなのでペアの人に迷惑をかけないか心配でした。でもペアの人は、私が失敗した時も「ドンマイ」と言ってくれました。その時は「次はがんばろう」という気持ち



になることができませんでした。最初の方はとても緊張していたので、練習の時は返せたボールも、本番ではすぐにネットにひっかけてしまいました。ペアの人には悪い気持ちでいつぱいでした。だから「次こそ迷惑をかけない」と思つてやりました。が、どうしてもうまくいきませんでした。なぜうまくいかないかと考えたら、自分に自信がなかったことに気がきました。途中から自信を持つてやったら、来たボールをネットにひっかかず、相手コートに返すことができました。自信を「持つ」と「持たない」がこんなに違うとは思つてもいませんでした。最後の方はテニスをするのがとても楽しかったです。緊張していたけれど、緊張がいつの間にかほぐれていきました。結果私たちのペアは3位でした。思っていた順位より上でとてもうれしかったです。今回のテニス大会はとても楽しかったです。また来年も参加したいと思えました。

## 大会と 今後について

ソフトテニス協会

成田 詮

8月18日(日)、第59回飯山市長杯争奪大会を開催し、参加者数は例年とさほど変わりはないのですが、顔ぶれがこの所、殆んど同じで新しいチームが少なく、高齢化大会になりつつあります。

人口が減少傾向にある事と、スポーツ種目の多様化、メ

ジャー種目への憧れ等、厳しい現実の中に当部があることはつきりしている事を重く受け止めています。今、部員数の増加は難しいですが、小学生、中学生の教室を考えると

は、現実、市営テニスコートへの交通機関が無い事と、現在の小、中学校にテニスコートが無い事、昔しあつたコートは駐車場にされたり、花壇になったり、身近かに使用出来る場がないのが悩む所です。大変残念に思っています。

特に、これから国体の改革がすでに始まっており、「21世紀の国体像」国体ムーブメン

トの推進」が成案化されています。

これからの国体が目指す方向性は、三つありますが、その内の三つ目の「国体を通じたアスリートの発展、育成、強化」があり、小、中学生に

関係して来ると思っています。内容は、これまでの国体は、成年と少年の重点はほぼ同等でしたが、今後は少年の種別に重点を置き、種別、参加人数、参加県を増やしていく、あるいは、年齢区分の見直しをするという案があります。この所に、小学生、中学生、高校生が関係するようです。

この点で、小、中、高生の教室を開催したいと思うわけです。それにより周囲の係わりと共に、当部員の増加を目指したいと思うわけです。





# 飯山市ジュニア水泳大会

スイミングクラブ

宇田 知幸

去る、8月25日、長峰の市民プールにおいて第38回飯山市ジュニア水泳大会が開催されました。

今年の夏は、猛暑日が多かったことも影響し、真つ黒に日焼けした生徒達が目につきました。当日は、好天に恵まれた中、99名の小・中学生が参加し、日頃の練習成果を十分に発揮しようと、選手を代表



抱えながらも周囲の大応援に支えられて、ゴールまで泳ぎきって、感動を与えてくれました。

この大会では、200mと100mの競技種目から大会新記録5個、小学4年男子50m平泳ぎに出場した小出直弥(飯山小)が、48秒1の記録で28年ぶりに大会記録を更新されました。

して常盤小の井出歩花、小林涼美、油科夏葉さんが大きな声で選手宣誓をしてくれました。先に行われた世界水泳大会でメダル奪取の日本選手への刺激をうけながらそれぞれの目標に向かって頑張っていました。低学年の中には、始めて50m泳ぎに挑戦し、不安を

そして競技種目の最後に行われた学校対抗200mリレーでは、大声援の中、男子は激しい追い上げをかわして、15年ぶりに戸狩小が優勝。女子は、安定した力を発揮した飯山小が昨年に続き、優勝しました。

# 2013県民スポーツフェスティバル北信地区MG飯山大会

マレットゴルフ協会

丸山 安夫

昨年来、整備造成が進められた長峰スポーツ公園を会場に8月25日、標記大会が盛大に開催され当日は坂城以北12支部の代表選手211名が参加されました。

開会式で来賓の長瀬教育長、

宮本県議、沢崎地区長3名による始球式には始まり9時の花火を合図にプレーを開始、セットされた難コースをもとめせず好プレーが展開されました。

試合の結果上位60名の皆さんは10月20日、松本空港に隣接の公域緑地公園マレットゴルフ場で開催の本大会への出場権を獲得されましたが飯山支部からは16名の皆さんが出場する事となりました。

閉会式では優勝者をはじめ入賞者の表彰式が行われ、幸

いにも優勝カップは男女共地元飯山支部の選手が受賞しました。沢崎地区長からは主管の飯山支部役員各位にお礼を兼ねて好評が行われ、最後に男女の優勝者の音頭で万歳三唱し無事大会が成功裏に終了しました。

- 男子優勝 渡辺 雄宏(飯山)
- 二位 三井 久雄(飯山)
- 三位 小金沢 旭(坂上)
- 女子優勝 山崎きよ子(飯山)
- 二位 北沢 正江(中野)
- 三位 山本 安子(中野)

# 強くなった理由のひとつに

野球クラブ

上松 正義

この写真は、8月24日に行われた、飯山高校と佐久長聖高校の練習試合です。主審・塁審三人は全て地元の高野連公認審判員です。

近年、強豪高校のレギュラーメンバーが飯山を訪れて試合を行う機会が増えた理由には、飯山高校・飯山北高校が実力をつけてきた事と公認審判員が多い事です。今春から加入した20代

の新人ふたりを含め現在飯山市には七人の公認審判員が登録されています。

社会人になっても高校野球を愛し感動を求め、この世界にまだまだ関わりたい情熱家が多くいる飯山地域の充実ぶりは、長野県高野連関係者の間でも注目され話題になっています。

長年審判員として、この道の大ベテランの宮崎正さんは、レベルの高いチームは試合後に必ず感想を聞きに来るそうです。その時に曖昧な答えは言えないし、正しく技術的に見る目的を射たアドバイスが出来るように我々もしつかりと日々の勉強をしていかなければいけないと話してくださいました。

今夏の甲子園大会でも雪国の東北チームの活躍が目立ちました。「雪国のチームは弱い」は、昔の話です。充実した審判団の存在と選手たちとの良い相乗効果、飯山高校・飯山北高校のレベルを上げて来たのではないのでしょうか。



## 剣道の一本

剣道クラブ

福沢

東

皆さんは、剣道の試合を見たことがありますか。見たとしても規則が分からないのでつまらないと思う方も多いことでしょう。

剣道の試合の多くは三本勝負で行い、最初に二本とった者を勝者と決めていきます。そこで難しいのが、何を一本とするかです。今回この紙面を借りて何が一本になるかを説明させていただきます。

全日本剣道連盟の審判規則にはこうかかれています。

有効打突は（つまり一本とは）、充実した気勢、適正な姿勢をもって、竹刀の打突部で打突部位を刃筋正しく打突し、残心あるものとする。

内容をひとつずつ説明するところとなります。「充実した気勢」とは、気合のことで、打ち込んだ場所を十分な気合とともに発声することです。「小手」「面」「胴」「突き」といった発声を打突と同時に発します。

「適正な姿勢」とは、文字どおり正しい姿勢のことで、姿勢が崩れた打突では一本と認められません。

「竹刀の打突部」とは、「物打」と呼ばれる箇所です。竹刀の先端から約四分の一までの部分です。

刃筋とは、「弦」と呼ばれる糸の反対側のことです。竹刀を

刀と考えた場合の刃のついてる側ということになります。刃のついてる方向に打つてると正しい刃筋になります。

「打突部位」とは、打つ場所のことで、大きく分けて「小手」「面」「胴」「突き」の4つがあります。

最後に「残心」とは、最後まで気を抜かず相手に対することで、これができていないと一本になりません。

簡潔に説明するとこのようになります。このような内容を理解されて剣道の試合を見るときも興味深くなると思います。



## 第29回 体協まつり

9月21日好天に恵まれて、29回を数える体協まつりが長峰スポーツ公園で開催されました。体協まつりは、「日頃各競技部ごとに分散している体協メンバーが一堂に会し、相互の理解と親睦を図る、併せて市民の健康づくりに寄与する。」として行なわれています。

今年もマレットゴルフが行われました。100人程の参加者が3人で1チームに別れて競技を行いました。参加者の中には子供たちや初心者が多いため、マレットゴルフ協会の皆さんに、各組に1人付



いて指導いただきながらプレーしました。ご協力頂いた方々に御礼申し上げます。

## トリプルゲートボール(3人制)

ゲートボール連盟

高柳

輝茂

去る9月14日、松本市四賀屋内ゲートボール場に於いて、第1回長野県トリプル親善ゲートボール大会が開催されました。

北信・東信・中信・南信よりそれぞれ5チーム計20チームで大会を行いました。

トリプルゲートボールは、日本ゲートボール連合がゲートボールのバリエーションゲームとして推奨しています。5個のボールを3人で進める、運動量・スピード感の味える競技です。

2015年の国わかやま国体トボールが公開競技として採択

されました。競技は現行の5人制で参加チーム数は32と聞いています。しかし全国各県より、より多くのチームを出すため数

年後には、トリプル大会になるのでは?と予想されています。

飯山市ゲートボール連盟としても、ゲートボールはいろいろな楽しみ方があることを通して、更なる普及・振興を目指します。



### 【編集後記】

9月16日、飯山市は18号台風に伴う強風雨に襲われ、新聞記事によると、飯山市同日では、最大瞬間風速18・7メートル、最大降雨量79・5ミリを記録した。強風により、上倉地区など6ヶ所で倒木が相次ぎました。

当日予定した飯山市ジュニアクロスカントリー大会は、やむなく中止することになりました。11月10日(日)第34回飯山市ジュニア駅伝大会が開催されますので多数のご参加をお待ちしております。